

気候非常事態宣言について

これまでの経緯

- 菅総理が温室効果ガス排出量を実質ゼロにする旨の所信を表明。
- 衆参両院でも「気候非常事態宣言決議」を超党派で提起し、賛成多数で可決。
- 本市においても、環境審議会等の議論の中で、宣言について検討中。

沢田の質問

地球温暖化対策は、1市で行うよりも、広域的に地球温暖化対策に取り組むことがより効果的であると考える。本市が宣言を行うということであれば、北摂近隣市やNats(西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市の中核市4市)で連携して宣言してはどうか。

市長

御指摘のとおり地球規模で取り組むべき気候非常事態宣言といった、社会の在り方やライフスタイルの転換を目指す政策は、少なくとも単独自治体を超えた一定のエリア、北摂近隣市等で連携することで、より実効性が高まると考えている。今後、調整を進め、歩調を合わせるようにしていく。

17の持続可能な開発目標 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



令和2年11月定例会
沢田なおき個人質問の動画はこちらを▶▶▶



市政相談受付中!

メール、電話、SNS又は連絡事務所、会派控室まで、お気軽にご相談ください。

連絡用メール naokisawada2002@gmail.com

連絡事務所 〒564-0022 吹田市末広町2-9

連絡先 TEL.080-6118-0391 (直通) FAX.06-6337-6852

会派控室 〒564-0041 吹田市泉町1-3-40 吹田市役所中層棟3階(大体ここにいます)

発行 自由民主党糸の会

自由民主党

糸の会通信

～誇れる吹田を次世代へ～



吹田市議会議員

沢田なおきの議会活動

令和2年11月定例会TOPIX 11月26日～12月18日開催

- 国の第3次補正予算可決後の新たな「吹田市新型コロナウイルス対策」について
- ふるさと納税返礼品拡充について
- 税外収入の確保について
- 桃山公園及び江坂公園を対象としたパークマネジメント事業について
- 気候非常事態宣言について



吹田市議会議員(2期) 沢田なおき プロフィール

S52/5/29会社員の長男として生まれる/ 末広町在住/2児の父
玉川学園幼稚園→東山田小学校→千里丘中学校→大阪学院高校→ロンドン留学2年半→
関西学院大学法学部政治学科卒→関西学院大学経営戦略研究科(自治体経営専攻)在学中
民間企業勤務を経て、議員秘書、予備自衛官
自由民主党吹田市議団 代表 地車の伝統文化を守り地域振興を図る議員連盟(通称 だんじり議連)会長

趣味 サッカー、ジョギング(フルマラソン3時間54分)、旅行(海外23か国・地域訪問)、読書(歴史・政治経済)

家族構成 妻、長男5歳、長女3歳

追加の「吹田市新型コロナウイルス対策」について **NEW**

自民党会派を代表して沢田が要望 (吹田市議会 令和2年11月定例会 討論採決より)

意見1

- 国の第3次補正予算が可決すれば、コロナ対策費として活用できる地方創生臨時交付金が15億程度入ると予測できる。後手にならないよう、今から市民ニーズを調査し、交付後、迅速な対応ができるよう今から準備すべき。



意見2

- 過去に実施したコロナ対策でも特に費用対効果が高いと思われる事業については、再実施も検討すべき(雇用対策、飲食店支援、子育て支援、感染防止対策、医療関係支援等)

ふるさと納税関連補正予算が可決!

要旨

ふるさと納税が想定より集まったため追加経費に係る補正予算を計上。市は昨年8月よりふるさと納税返礼品の送付を開始。当初、1億8000万円程の歳入を見込んでいたが、想定より大きく膨らみ6億円の新たな歳入が見込まれる(返礼品代等の経費を差し引くと市の収入は約3億円)



自民党会派を代表して沢田が要望 (吹田市議会 令和2年11月定例会 討論より)

意見1

- 本市の返礼品はアサヒビールの占める割合が極端に高いが、国の見解が変わり、**ガンバ大阪のユニフォーム**も吹田市のふるさと納税の返礼品の対象にできるようになった。本市とガンバ大阪はパートナーシップ協定を締結しており、新たな返礼品として積極的に働きかけるべき。

意見2

- 本市はこれまで、H31年度課税分でふるさと納税により約12億円減収していた。今年度から返礼品送付を開始したことにより、約3億円の寄付金増の見込みはあるが、それでも大幅な減収となる。コロナの影響による大幅な税収減も予測されるので、返礼品の品目を増やすことで、「吹田市の魅力発信」「地元企業の支援」だけでなく、「**税外収入の確保**」にも繋げていくべき

意見3

- 以前から要望しているが、新たな返礼品として、国立循環器病研究センターの「高度循環器ドック」や「万博BEAST」なども視野に入れ交渉を進めるべき

桃山公園及び江坂公園を対象としたパークマネジメント事業について

吹田市がこれまでに実施したパークマネジメント事業

- 千里南公園へのカフェレストランの誘致(バードツリー)
- 健康づくりの拠点となる健都レールサイド公園の整備(JR岸辺と吹田の中間地点)
- 高野公園における国家戦略特区制度を活用した保育所整備



問題点

千里南公園にあるカフェは連日ぎわい、吹田市の魅力アップに大きな貢献をされている。ただし、現状は市の土地を格安で貸し出しているだけで(月約12万円)、公園の維持管理費の削減には、ほとんど繋がっていない。(契約は最大20年で、原状回復義務あり。年間売上約2億8千万円(令和元年度))

これからのパークマネジメント事業

国の法改正もあり、これからのパークマネジメント事業は、**民間事業者に公園の管理を委託**→**収益事業の許可を与える**→**収益をトイレなどの公園の整備や修繕費用として使用**→**吹田市の公園の維持管理費を削減**へ

吹田市の公園の
維持管理費を削減へ



沢田の質問・意見

今後、桃山公園や江坂公園で民間事業者に収益事業を含む一体的な運営を任せるのであれば、

- ①公園施設の設置許可に際し、経営状況の報告を条件とすべき
(バードツリーは報告義務なし)
- ②長期の契約になるのであれば、事業者の経営状況に応じて**金銭の支払いをオプションとする条件を含む契約**にすべき
(バードツリーは最大20年間契約の見直しなし)
- ③周辺住民や自治会等に説明を尽くすこと

土木部部長

収支の年次報告の提出を求めていく。また、事業者の当該公園における経営状況に応じた市への還元方策についても、検討していく。